

2023年度入試

入学試験問題集

【幼児教育科】



東京成徳短期大学

目 次

総合型選抜 9月入試・10月入試・11月入試・12月入試	小論文
学校推薦選抜（公募入試／指定校入試）1期・2期	小論文 … 1
出題意図・解答例……………	2

「一般選抜A日程・B日程」の問題は、
「2023年度入試問題集 一般選抜A日程・
B日程」に掲載しています。

● **総合型選抜**（9月入試・10月入試・11月入試・12月入試）
● **学校推薦型選抜**（公募入試/指定校入試）1期・2期

【作文】（試験時間：60分）

以下に提示されたテーマA～Cの中から一つ選び、800字程度の作文を作成しなさい。

〔作文テーマA〕

本学の授業見学会、オープンキャンパスの体験授業を受講して、あなたが得たことや学んだことについて、これからの学生生活でどのように深めていきたいと考えますか。

できるだけ具体的に述べてください。

〔作文テーマB〕

あなたが最近気になった幼児教育・保育に関するニュースについて、保育者を目指す高校生として感じたこと、考えたことを述べてください。

〔作文テーマC〕

あなたの長所、特技、得意なことを学生生活や保育の仕事にどのように生かしていきたいと考えますか。考えたことを述べてください。

● 出題意図

総合型選抜 9月入試・10月入試・11月入試・12月入試

学校推薦型選抜（公募入試/指定校入試）1期・2期【出題意図】

* 幼児教育科が入学試験で確認する〈学力の3要素〉について

① 知識・技能

これまでの学校教育で培われた知識や技能・体験等に基づいて、自分の将来像や実社会との関わりが意識されているか。
文章表現の基礎的な知識や技能を身につけているか。

② 思考力・判断力・表現力

知識や体験の中から適切な情報を選択して提示することができるか。
趣旨に沿って、読み手に伝わるような文章の構成や展開、表現ができるか。

③ 主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度

他者と関わりながら学び、多様性を認め合い、力をあわせて向上していく自分の姿を意識することができるか。
保育・幼児教育の分野に興味を持って学び続ける強い意志を持ち、自己の課題を発見し解決しようとする姿勢が感じられるか。

出題意図

短期大学における2年間は、卒業後も自分で学び続け、成長し続けられる社会人となる力をつける時間でもある。そこで長期的・継続的な学びの姿勢の土台となる受験生のモチベーションや意欲について重点的に評価することのできる出題を意図した。本学幼児教育科の特徴及びアドミッションポリシーを理解したうえで、自分の意見や考えを作文という形で適切に表現する力を評価したい。これまでの学校教育で身につけた知識や、一人ひとりの体験に裏付けされた能力を充分示することができるよう、これまでの当日課題に変えてテーマを事前に発表する作文に選考方法を変更した。これは入学試験という限られたチャンスにおいて受験生がより確実に持っている実力を発揮できることを狙ったものである。

幼児教育科総合型選抜 作文テーマ

以下に提示されたテーマA～Cの中からひとつを選んで、当日800字程度の作文を書いてもらいます。
なお、下書き・資料等の持ち込みはできません。

作文テーマA

本学の授業見学会、オープンキャンパス体験授業を受講して、あなたが得たことや学んだことについて、これからの学生生活でどのように深めていきたく考えますか？できるだけ具体的に述べてください。

解答例

私は7月に「課題研究B（造形）」という授業を見学しました。この授業は、1年間をかけてオリジナルの絵本作りを行う授業で、私が参加した日は2年生の先輩たちが完成させた絵本を収納して持ち運ぶための布製のバッグを作っていました。真っ白なバッグに布用クレヨンで絵を描き、アイロンがけをして定着させる作業を、私も一緒に体験させてもらいました。

先輩たちの作った絵本はそれぞれ個性豊かで楽しく、子どもたちの前でその絵本を取り出すときの「ワクワク感」を工夫してバッグを作っていたのがとても印象的でした。絵本を読む時間だけでなく、バッグから取り出すときから子どもたちを楽しませる工夫をしていることを学び、保育の仕事の奥深さを知りました。

また、この授業のように、少人数で課題に取り組む授業をゼミナールと言い、個別指導のため自主的・主体的に学ぶ姿勢が大切であると教えてもらいました。先生と会話をしながら授業を進めていくゼミナールのスタイルは、高校の授業と違って新鮮な印象でした。しかし、自分がどのような絵本を作りたいか、何のためにその絵本をつくるのか、手作り絵本を読み聞かせることで子どもたちにどのような良いことが起きるのかなどを、担当の先生にしっかり説明できるようにならなければいけないというところは「私にもできるかな？」と少し不安になりました。

先輩とお話をする機会があったので、この点を率直にきいてみると「先生は話しやすい環境を作ってくれているので、考えがまとまらないときは積極的に相談してみるといいよ」と教えてくれました。私は普段の高校の授業では恥ずかしくて、あまり積極的に質問や相談をできていないので、これからは学びを深めるために、まずは先生に話しかけることから挑戦していきたいと思いました。

作文テーマB

あなたが最近気になった幼児教育・保育に関するニュースについて、保育者を目指す高校生として感じたこと、考えたことを述べてください。

解答例

私が今年、最も衝撃を受けたのはウクライナ情勢に関するニュースです。毎日テレビで流れる悲惨な映像や、小さな子どもたちの犠牲を伝える報道を目にするたびに、胸が締め付けられるような辛い気持ちになります。日本の大学がウクライナから留学生を受け入れたというニュースを見たときは嬉しさも感じましたが、私と同年代の人たちが困難な状況で頑張っている姿を見て、遠い国のニュースがより身近なものとして現実的に感じられました。

また、地域のボランティアとして保育園に行ったときに、年中クラスの子どもたちがこのニュースに関して話をしているのを聞いて驚くのと同時に、小さな子どもたちのほうが私よりもっと怖かったり辛かったりするのではないかと思いました。ウクライナの保育園ではどのような毎日を過ごしているのか、気になってインターネットニュースを検索してみました。記事は見あたらず、情報の少なさも現地の困難を示しているように感じました。

私が保育士を目指している理由は「小さな子どもがかわいい」という素直な気持ちと、「いつか人の役に立てる大人になりたい」という将来の夢によるものです。ウクライナのニュースを見て、小さな子どもや困っている人など、より弱い立場にある人々のことを助けていきたいと考えるようになりました。このことから、短期大学に入学したら、保育の福祉の側面について深く学んでいきたいと思います。

また、ボランティアで行った保育園の園長先生から、東日本大震災のときのお話を伺いました。首都圏でも電車がストップして保護者がお迎えに来られない子どもがたくさんいたそうです。先生たちは子どもたちの食事のために食材をかき集めて、教室に泊まり込んで保護者が来るまで待っていたと聞いて、子どもたちを守る責任の重い仕事に就くために、自然災害などの非常時の支援について学んでいきたいと思います。

作文テーマC

あなたの長所、特技、得意なことを学生生活や保育の仕事にどのように生かしていきたいと考えますか。考えたことを述べてください。

解答例

私の特技はクラリネットの演奏で、中学1年生からずっと続けており、1学期の終わりに引退するまでは吹奏楽部の部長を務めていました。大勢の部員をまとめたり、コロナ対策をしながら練習環境を整えたり、たいへんなことも多かったですが、地区大会で初めて受賞したことなど達成感を感じることや、友人たちとの楽しい思い出も多く残りました。

演奏や部活動もがんばったのですが、私が最も努力したことは、学習と練習の両立です。私が通っている高校は資格取得ができる授業もあるため、かなり過密なスケジュールとなっていました。これに加えて、幼児教育科への進学を目指し、近所の幼稚園で行事のお手伝いのボランティアをさせてもらっていたため、はじめは勉強のための時間配分が上手くいかずに悩んでいました。

私はひとつのことに集中するとその活動にのめりこみやすいタイプだと自覚しているので、自分の性格を冷静に分析してスケジュールを見直しました。具体的には試験10日前から楽器の自主練習の時間を削り、試験対策の勉強をしっかりと行いました。期限を決めて勉強だけに集中する時間を作ったことで、学習と練習の両立が実現し、諦めないことと計画性の大切さを学ぶことができました。短大生や社会人になったら、今よりもっと忙しいと思うので、この体験から今後もスケジュール管理を徹底していきたいと思います。

また、部活動を引退して朝練がなくなったことで、母が「お弁当づくりが楽になった！」と言っていて、いままで家族に支えられていたことに改めて気づきました。家庭や学校の日常がチームワークで成立しているのだと感じ、これからの学生生活や保育の仕事でも、コミュニケーションや感謝の気持ちを大切にしていきたいと思いました。2学期が始まってまだ日が浅いですが、いまは毎朝のお弁当作りを手伝うところから努力をしています。